



あなたの声をリレーする



「新緑に囲まれて」 古関 喜典(福島市)

CONTENTS

●通常総会プログラム	P2
●2019年度予算案	P3
●2019年度活動計画案	P4~P5
●石田まさひろ議員 国政報告会・主な実績	P6~P9
●研修会報告	P10~P11
●おじゃまします。	P12~P13
●夜の森の桜	P14
●連盟クイズ	P15
●編集後記	P16



会員の皆さまのご参加をお待ちしております!



2019年度福島県看護連盟 通常総会プログラム

期日 2019年6月21日(金)

場所 ふくしま医療機器開発支援センター

9:00 受付

9:25 オリエンテーション

9:30 総会開会

挨拶 福島県看護連盟会長 本内 敦子

福島県看護連盟名誉会員表彰

来賓祝辞

来賓紹介

9:55 議長団選出

10:00 報告事項

平成30年度通常総会報告

平成30年度諸会議報告

平成30年度活動報告

平成30年度決算報告

平成30年度監査報告

10:20 審議事項

第1号議案 2019年度スローガン(案)

第2号議案 2019年度活動計画(案)

第3号議案 2019年度予算(案)

第4号議案 規約改正(案)

第5号議案 役員改選(案)

自由民主党福島県支部連合会看護連盟支部報告

新役員・退任役員挨拶

綱領宣言

連盟の歌斉唱

11:10 閉会

.....休憩.....

11:20 石田まさひろ総決起大会

12:30 閉会

※プログラムは都合により変更されることがあります。

2019年度収支予算(案)

2019年4月1日～2020年3月31日

■ 収入

(単位:円)

項目	本年度予算額	備考
I.会費	14,000,000	
(1)会員会費	13,800,000	2,000円×6,900名
(2)賛助会費	200,000	500円×400名
II.本部助成金	17,000,000	本部より支部運営助成金・研修会助成金等
III.預金利子	500	
前年度繰越金	10,734,464	
合計	41,734,964	

■ 支出

(単位:円)

項目	本年度予算額	備考
I 会議費	3,550,000	
総会費	1,000,000	県総会費
支部長会費	1,000,000	年3回以上開催
役員会費	1,100,000	月1回開催
委員会費	450,000	青年部委員会4回、広報委員会6回
II 事業費	18,500,000	
組織対策費	8,000,000	組織活動費、本部総会・会議出席費等
教育費	3,000,000	研修会費
慶弔見舞金	200,000	慶弔関係費
機関誌発行費	2,000,000	福島県看護連盟だより年2回、臨時号年1回(諸経費等)
支部交付金	5,300,000	支部活動費、支部研修費
III 運営維持費	17,700,000	
人件費	12,000,000	職員給与費・退職金積立等
光熱費	350,000	電気・水道・ガス
通信費	1,500,000	郵便代等
備品・消耗品費	350,000	備品・事務用品等
事務所費	3,500,000	事務所維持費
IV 予備費	1,984,964	
合計	41,734,964	

2019年度活動計画(案)

重点方針

①力強い組織の創成 ②成熟・自立した活動

I 組織の強化・拡大

目標	活動	活動内容
1 施設・支部・県・本部の連携強化	1) 定例会議等を通して本部・県の連携の強化、情報の共有を図る 2) 県・地区・支部間の意見交換を通してそれぞれの活動を推進する	<ul style="list-style-type: none"> ・日本看護連盟通常総会(6/14) ・全国会長会議：年3回（4・6・1月） ・ブロック別会長会：年6回 ・都道府県別会議（9/6） ・福島県看護連盟通常総会(6/21) ・県役員会：年10回程度 ・県役員・支部長合同会議：年6回程度 ・青年部委員会：年5回程度 ・各地区・支部・施設での定例会議の実施
2 看護連盟・看護協会との連携・協働	1) 県看護協会との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・協会・連盟合同役員会を年2回、他に隨時事務局同士の話し合いを行い情報交換する ・看護協会とともに陳情・要望活動を行い議員及び行政へ提出する ・看護政策について話し合う機会を設ける ・合同研修会を年1回行う（新春の集い）
3 連盟活動の理解と周知を図る	1) 会員への情報提供を行う 2) 参加しやすい研修を行う ①連盟役員に対する研修 ②会員対象研修	<ul style="list-style-type: none"> ・広報誌「りれい」を年2回、臨時号1回発行 ・ホームページ・フェイスブックによる情報発信を隨時行う ・本部からの情報や看護職国会議員の活動報告などを各会員へ送る ・日本看護連盟のLINE登録を勧める ・施設訪問を行い情報提供と現場の声を聴く ・会員・非会員ともに出席できる研修を実施し、参加率を上げる ・県・地区・支部・施設とそれぞれで研修を行い、看護職が年1回以上の何らかの研修に参加できるよう働きかける ・それぞれの研修において、連盟の役割と看護職代表議員の活動を伝えるようにする（ハンドブックやDVDを利用） ・連盟についての理解と活動ができることと会員に伝え広めていけるようになるための研修を実施する 新役員・新支部長研修1回/年 支部長研修1回/年 支部役員研修（支部幹事・病棟連絡員・青年部委員等）2回/年（県主催1回、地区・支部で1回） ・対象別に研修を実施し、連盟に対する理解を深め活動に結び付けられるように、効果的で、親しみやすい内容を企画し実施する 看護管理者セミナー1回/年 若手会員研修1回/年 一般会員研修1回/年以上 地区・支部ごとの研修1回/年以上 基礎研修 続・基礎研修 一般・若手・OB研修
4 会員数の増加を図る	1) 2019年度内に会員60名増員し、6,960人を目指す。 役員・支部長が中心となり、看護部長、支部役員等の協力を得る 2) 学生会員を年度内に70人増やす 看護学校の教員の理解と協力を得る	<ul style="list-style-type: none"> ・30年度数より各支部2~3名の会員を増やす ・非会員への入会働きかけ、特に役職になっている看護職への働きかけをする ・各施設の看護職員数の増減を把握する ・看護部長の協力を得、新入職員のオリエンテーションに連盟について話す時間を設ける。同時に連盟入会を勧める ・会員が少ない施設や会員がない施設を訪問する ・退職時の退会を防止し、個人会員やしゃくなげ支部会員としての継続加入を勧める ・地区役員・支部長と共に学校訪問をして広報活動と共に、連盟への入会を勧める
5 地区・支部の活動強化	1) 地区幹事・支部長・支部幹事・病棟連絡員・青年部委員等の自主性促進を図る	<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの役割を研修や会議を通して伝え理解を得る。 ・支部長は、支部幹事や病棟連絡員が役割を果たせるよう支援と育成をする。また、支部長の補佐を地区役員・県役員が行う。 ・役割を果たせるリーダーを増やす。

	2) 青年部委員の活動強化を図る 3) 支部役員のモチベーションの強化	<ul style="list-style-type: none"> ・県青年部委員の役割を理解し行動する ・地区的地区役員や青年部委員と連携を図る ・ブロックポリナビの協力と、県・地区・支部における若手会員の研修等を積極的に行う ・政治アカデミー修了者、青年部委員経験者と共に青年部の活動を活発にする ・新役員・支部長・支部役員それぞれ対象別の研修を行う ・県・地区での議員との懇談会を開催し、現場の意見を伝える
6 他の組織との連携・協働	1) 医療・介護関係団体との交流の促進 2) 支援企業・団体との交流の促進	<ul style="list-style-type: none"> ・研修や集会などに声をかけ、交流の機会をつくる ・賛助会員への協力を依頼する ・他団体からの案内があった場合は、積極的に参加する ・総会・新年交礼会への参加案内をする
7 現場の課題への対応	1) 役員会で現場の声を集約し、中央役員会、国会議員等へ届ける	<ul style="list-style-type: none"> ・会議・研修・施設訪問などで現場の声を収集する ・議員との懇談会などに積極的に参加し、現場の声を届ける ・現場の声を中央役員会、看護職代表議員に届ける ・届けた声の進捗状況を確認する

II 政治力の強化

目標	活動	活動内容
1 看護政策の実現	1) 看護政策実現に向けて県看護協会と連携を深める	<ul style="list-style-type: none"> ・現場の声を把握し、看護協会と共に要望書を作成し、行政・議員等へ提出する ・議員の政策説明会などに参加する
2 看護職国会議員の支援	1) 4人の国会議員の名前と活動を伝える 2) 第25回参議院選挙において、組織内候補者を高得票数で当選させる 3) 第25回参議院選挙の総括をする	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページ、フェイスブックなどから議員の活動を知るよう伝えていく ・支部長を通して、議員の活動を支部会員に伝える ・組織内候補者の得票数を10,000票以上とする ・連盟会員の9割以上が親会員に入会する ・子会員（会員以外の後援会入会者）を目標数以上の入会とする。親会員が4人以上の子会員を目標として活動する ・候補予定者の活動情報をSNSなどから得られるよう働きかける（メールアドレスの登録を勧める） ・若手会員へは、青年部委員が中心となり働きかけをする ・選挙結果の分析と活動内容の振り返りをおこなう ・今後の活動対策を立てる
3 看護を理解する国会議員地方議員との連携を進める	1) 看護問題に関する懇談会を行う 2) 県選出の国会議員との連携を図る	<ul style="list-style-type: none"> ・議員との懇談会などに積極的に参加し現場・県議会役員議員との懇談会を年1回開催する ・他に地区ごとの懇談会を開催する ・国・地方議員が開催する集会等に参加し、意見交換をする ・国・県・市町村選挙を積極的に支援する

III 会員の福祉

目標	活動	活動内容
1 慶弔への対応	1) 規約に基づき対応する	<ul style="list-style-type: none"> ・災害見舞い、物故会員への弔慰、受賞者へのお祝い等
2 災害対応	1) 東日本大震災による浜通り被災地の支援をする 2) 災害発生地への支援	<ul style="list-style-type: none"> ・被災地の現場の声を国会議員に届ける ・必要な支援の協力をする
3 諸問題への対応	1) 専門家との相談の上、速やか問題解決する	<ul style="list-style-type: none"> ・本部との連携により問題解決する



「あの頃に憧れた看護は できていますか？」

参議院議員
厚生労働委員長 石田まさひろ

国政報告会・新年交礼会にて 2019年2月9日



看護職議員活躍中！

あべ俊子 先生
衆議院議員
外務副大臣



現在、外務副大臣として国内外でご活躍中です。2011年の震災後から、福島の風評被害を大変ご心配ください、毎年たくさんの物をご購入いただいております。

木村やよい 先生
衆議院議員



4月17日の厚生労働委員会では、女性活躍推進法案に関する質問を行いました。詳しくは、衆議院インターネット審議中継で御覧ください。

たかがい恵美子 先生
参議院議員
厚生労働副大臣



現在、厚生労働副大臣としてご活躍中です。昨年12月にはたかがい先生の声掛けで、女性の健康について考えるフォーラムを郡山市で行いました。

石田まさひろの 国会議員としての「ポリシー」

声を聽かせてください!

徹底した 「現場主義」

国民一人ひとりの声を聞くため、日本全国の病院・施設を2000ヶ所以上訪問しています(47都道府県すべて)。毎年の移動距離は10万キロ以上。地域独自の様々な課題を把握していきます。



全てお伝えします!

徹底した 「情報発信」

○国政の場で起こっていること
○全国各地で起きている素晴らしい取組み事例を随時発信。ホームページの更新回数は、年350回超です。



明るい未来に向かって

徹底した 「未来志向」

日本看護連盟幹事長時代から、若い世代の育成のためのシステムづくりをリード。次世代リーダーの養成に力を入れています。国会議員になってからは「わかしの会」を立ち上げ、35歳以下の若者をメンバーとし、各界から講師をお招きして勉強会を開催しています。

石田まさひろのプロフィール

1990年東京大学医学部保健学科卒業。

看護師として聖路加国際病院内科病棟、東京武蔵野病院等に勤務。
その後、日本看護協会政策企画室長・日本看護連盟幹事長として二十数年にわたり医療・福祉政策に携わってきたエキスパート。
第23回参議院議員選挙初当選。



国会議員として担ってきた主な役職

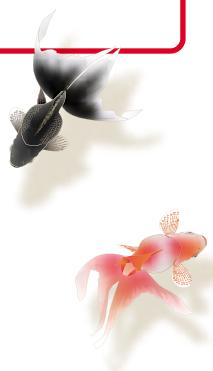
●参議院

- 厚生労働委員会 筆頭理事
- 議院運営委員会 理事
- 沖縄北方問題特別委員会 委員長
- 予算委員会 委員
- 財政金融委員会 理事
- 憲法審査会 委員 など



●自由民主党

- 国会対策委員会 副委員長
- 財政金融部会 部会長代理
- 厚生労働部会 副部会長
- ネットメディア局 次長
- 厚生関係団体委員会 副委員長
- 女性活躍推進本部 事務局次長
- 看護問題小委員会 副委員長
- 国際保健医療戦略特命委 幹事 など



趣味

[プロ並み]

金魚



神社



話したら
止まりませんので
要注意!!

石田まさひろの「主な実績」

「今日もいい看護ができたよかつた」 そんな現場を実現したい!!



国会議員として実現してきたことをご紹介します。

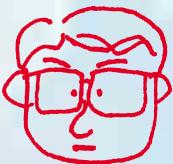
言うだけでなく必ず実行する。

それが石田まさひろの真骨頂です。



1

人手が足りない!!



潜在看護師の掘り起こしのため、
看護職免許保持者の
届け出制を創設しました!

現場の人手不足を解消するために
潜在看護師の掘り起こしを行っていきます。

認知症ケア加算を
新設(診療報酬)しました!

認知症患者の増加にともない、
看護職の「かかわり」を評価します。

3

心も支えてほしい!



精神科のアウトリーチの
評価(診療報酬)で
手厚く心のケアをします

早期対応、チームで夜間対応も
可能になりました。

4

安全な社会にしたい!



安全な社会を目指して
危険ドラッグ対策を
行っています!

議員立法による医薬品医療機器法の改正、
危険ドラッグ販売店は平成27年に全滅。

5

スキルアップしたい!



教育訓練給付制度の見直しで キャリアアップを支援します

中長期的なキャリア形成を支援、
給付条件が緩和されました。

6

安心して働きたい!



看護職人材紹介事業の 適正化を行いました!

6ヶ月以内に辞めた紹介者の割合の
情報開示義務、紹介手数料の適正化。



石田まさひろが 取り組んでいる 看護政策

看護職の自律

基礎教育と卒後教育の連続的な充実。
すべての看護職が主体性をもったプロフェッショナルとして成長するために。

職場環境の改善

看護職の増員、給与、勤務体制、休暇、子育て支援や介護支援等の改善。
全国津々浦々の現場を回り現場の声を聞き、それを国政の場で看護政策へと反映させていきます。

社会的評価の底上げ

「支える医療」における看護職の重要性や、技術・能力の優秀さを評価し、看護職に対する社会の信頼を高めます。
引き続き看護の重要性を、国会議員として社会に訴えていきます。

AIやセンサーなど 最新技術を看護に応用する

研究や業務改善を支援。事務作業の効率化を図りベッドサイドの時間を増やします。

起業支援

看護職が経営に携わることで元気な地域を増やしていく

「指示の下」からの 脱却

自主的に、自律して、責任感を持って看護に当たれる制度を整備します。

石田まさひろ国政報告会

日 時 ● 2月9日(土) 10:00~12:00

場 所 ● 郡山ビューホテルアネックス

参加者 ● 148名

1時間半もの熱のこもった国政報告と施設訪問の様子など話された後、看護の現場からの声を聴いていただきました。どの声にも丁寧に答えて下さい、時間を20分もオーバーしてしまいました。



新年交礼会

日 時 ● 2月9日(土) 12:30~14:30

場 所 ● 郡山ビューホテルアネックス

国政報告会が終了後、地元選出国会議員、県議会議員、友好団体の皆様と新年交礼会を開催いたしました。議員や友好団体の皆様と交流を図り親睦を深めることができました。



石田まさひろ議員と青年部委員との懇談会

日 時 ● 2月9日(土) 15:00~17:00

場 所 ● 郡山ビューホテルアネックス

石田議員を囲んで、青年部委員と支部長も参加しての懇談会を行いました。

若い人たちの看護についての考え方頗もしい!



若手・一般会員研修会

日 時 ●3月5日(火) 13:30~16:00

場 所 ●看護会館みらい

参加者 ●106名

- 講演 I テーマ：青年部の活動について
講 師：日本看護連盟中央役員 前田和哉 先生
- 講演 II テーマ：災害支援ナースとして福島を見つめて
講 師：ホスピタリティサポート 和心
所長 黒澤和子 先生

前田先生から連盟の役割を大変分かり易く説明していただき、参加者も連盟のこと、看護職代表議員が国政の場にいることがいかに大事であるかなど、理解できたのではないかと思います。

黒澤先生からは、震災後、南相馬の病院に支援に入り現在も続けて活動していることをお話し下さいました。何事も前を向いて突き進むという、パワーあふれる内容でした。



自民党福島県支部連合会青年部と看護連盟青年部委員との懇談会

日 時 ●3月13日(水) 17:00~18:00

場 所 ●自民党県連会議室

両青年部の初めての懇談会を行いました。

議題は「看護職を取り巻く現状と課題」で、連盟青年部代表2名から退院困難者の対応と看護職の偏在について情報提供を行いました。議員の皆様から質問も多くあり、活発な意見交換ができました。懇談会の後は、場所を移して懇親会を行いました。



「優しさと笑顔のなかで」

一般財団法人 温知会 会津中央病院



第2回目の「おじゃまします」は、病院内のイベントが多彩との情報がきっかけで一般財団法人 温知会 会津中央病院におじゃましてきました。

この日の催しはジャズ!! 7階フロアには関係者を含め50人ほどの観客が集まりました。車いすで、点滴や酸素吸入をおこないながらの患者さんの参加もありました。歌手NAOさんの歌声に合わせて手や首を動かしリズムをとつたり、手拍子をしたりしていました。オバー・ザ・レインボウや美空ひばりの愛燐燐など約30分間、計7曲を楽しみました。病院内で、しかも昼間から本格的なジャズを聴けるなんて、取材訪問はとても幸せな時間となりました。今回はジャズでしたが、太鼓あり落語



会津本郷焼「流紋焼」の磁器を埋め込み、モダンで個性的な外壁パネル



ありとそのときどきで催される内容にワクワク感満載のようです。

このようなイベントは、月一回のペースで行われているそうです。震災前までは、施設だけで行われていたのが、今では病院を含め関係施設へ優しさと笑顔を運ぶ素敵なイベントとなつていています。

その後、看護部長、副部長に病院内を案内していただきました。外來フロアの一画では、ピアノの生演奏が流れ、大きな水槽には色とりどりの熱帯魚が泳ぎ、病院にいることを忘れてしまいそうな空間が広がっていました。

看護部長は、病院という場だからこそ、患者さんやご家族の方にこうした癒しの場や時間が必要だと話されました。

取材の最後に、病院の近くにある赤い汽車が走るといつ、老健・特養合築の複合施設ヒルズ天生に寄りました。残念ながら走っている姿は見ることができませんでしたが、施設内にあるスーパーで買物を楽しんできました。

今回の取材で協力いただいた会津中央病院関係者のみなさま、ありがとうございました。

今後もユニークな取り組み、プチ自慢の施設がありましたらご連絡ください。取材に「おじやま」させていただきます。次回もお楽しみに。



夜の森公園

夜の森の桜

今年もまた、桜の季節に夜の森に行つてきました。

桜並木は全長2,2kmあります
が、そのうち1,9kmは立ち入り禁止区域が続いています。

4月6日は桜まつりが行われ、この日は帰還困難区域観桜バスが運行され、バスの中から桜を楽しむ試みが行われました。

取材に訪れた日は、桜まつりの翌日
だった為人出はなく閑散とし、バリケードがしっかりと張られていました。
それでも、桜は今年もきれいに咲いていました。



第6回連盟クイズ

前回当選された方おめでとうございます!

ディズニーリゾート、もう楽しんできましたでしょうか。

元号も令和に変わり、新年度もスタートしました。

今回もクイズ正解者の中から抽選で、編集長おススメのお酒を10名様にプレゼントいたします。

前回当選しきれなかった方、応募されなかった方

担当者一同たくさんの応募お待ちしています。

応募しないと当たりませんよ。

今回は少し難易度を高くしました。



**問 現在、看護職議員は衆議院に2人、
参議院に2人います。
では、参議院議員の2人の
名前をお答えください。**

ヒント

1人は厚生労働副大臣の女性、
1人は、厚生労働委員長の男性です。

応募方法 ● このページのQRコードからアクセスするか、ハガキにて必要事項をご記入の上ご応募ください。

<必要事項> ● 1. クイズの答えを記入 2. 郵便番号 3. 住所 4. 氏名
5. 電話番号 6. 勤務先

応募宛先 ● 〒963-8871 郡山市本町1-19-8生天目ビル1階 福島県看護連盟
締切 ● 令和元年6月30日(日)当日消印有効

当選発表 ● 7月下旬に商品を発送したうえで、次号の広報誌にお名前を発表いたします。

※当選者は福島県内に勤務または在住の方に限らせて
いただきます。会員・非会員は問いません。



第37号りれいクイズ当選者

- ディズニーパークチケット 菅野 恵梨華 様
- ハーゲンダッツアイスクリーム
深谷 量子 様 堀口 ひろみ 様 大戸 和子 様 板橋 隼人 様 大山 真奈美 様
湯沢 有紗 様 國井 麻衣 様 西巻 多恵子 様 佐藤 寛子 様 杉田 ゆかり 様



メールマガ編集部info@masahiro-ishida.jp

作:仲村和子



期日前投票 を利用しましょう!

Q いつ投票できますか?

A 公示日の翌日から投票日前日まで
原則 8:00~20:00

市町村によって異なりますので、投票所入場(整理)券でご確認ください。



Q どこで投票できますか?

A 期日前投票所の場所は、投票所入場(整理)券をご覧ください。

2枚目の投票用紙には候補者名を
書きましょう! (参議院選挙の場合)

表紙写真

第13回花見山フォトコンテスト福島ふるさと部門 ふるさと賞

「新緑に囲まれて」 古関 喜典(福島市)

写真の場所は福島県大沼郡金山町の大志集落です



令和初年度会員募集中!

●正会員 年会費／7,000円

●しゃくなげ会員(看護職OB) 年会費／5,000円
退職後も会員の継続をお願いします。

編 集 後 記

新しい年号「令和」に変わりました!どんな時代になっていくのでしょうか?
気持ちを新たに「平成」から「令和」に、ホットな話題をリレーしていきます。
皆様からの楽しい話題もお待ちしております。
そして、新たな時代に、みんなで看護の声を国政に届けましょう。(岩崎美樹)

※P8、9、15似顔絵イラスト 仲村和子

●広報委員メンバー

委員長／本多 文子(公立藤田総合病院)

委 員／岩崎 美樹(福島県立医科大学附属病院)

委 員／矢野 英治(総合南東北病院)

委 員／関根 美保(公立岩瀬病院)